



中央中等教育学校校歌
中央高等学校校歌

作詞 草野 心平 作曲 渡辺 浦人

一、春はむらさき 夏は雲
群青の秋 雪の冬
白亜に映える 学び舎に
太陽光は ふりそそぐ
おお朋がらよ 眉あげて
火の山の 高きにならえ
若人よ 腕組みて
新しき学を きわめん
群馬中央 われらが母校
われらは真と美に生きる

二、赤城風を なつかしみ
仰ぐは四季の 榛名山
校旗はためく 学び舎に
われらは集う おおらかに
おお朋がらよ 胸張りて
健康に わが身鍛えん
若人よ こぞりてぞ
新しき文化 築かん
群馬中央 われらが母校
われらは善と義に生きる

中央同窓会報

第26号

CONTENTS

特集 「学校の目指す方向性」	3
特別寄稿	4
メッセージ	5
母校だより	6
進路だより	12
同窓会活動報告	14
他	

■ 題字：8期 廣瀬 正史（少林山住職） ■ 表紙の写真：現在の校舎（平成31年3月撮影）

平成31年度

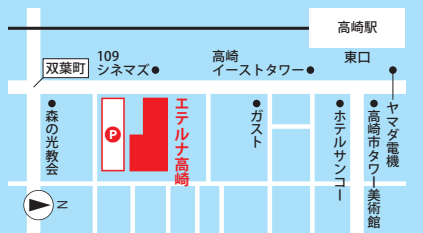
通常総会のお知らせ

日時：2019年6月22日(土)17時～

場所：エテルナ高崎
高崎市栄町22-30 TEL.027-323-1122

会費：3,000円（学生1,000円）

総会終了後、懇親会を開催します。会員の皆さまの多数のご参加をお待ちしています。



発行

群馬中央同窓会

卒業生数 14,915人（中央高等学校 13,697人 中央中等教育学校 1,218人）2019年4月1日現在
〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 TEL.027-370-6663 FAX.027-370-4910
ホームページ <http://www.chuo-ss-ob.com>



中央高等学校
昭和38年1月1日創立



中央中等教育学校
平成15年4月1日創立

同窓会長あいさつ



新しい日本にふさわしい
新しい学校としての
飛躍の年

同窓会長 大島 聡

元号が変わる今年、群馬県にとっても変革の時期ではないかと期待しております。

民間レベルとはいえ、イノベーションアワードやプログラミングアワードなど、多くの企業センスを生かし、人材育成的要素の濃いイベントが行われるようになり、人を育てることや群馬の魅力度を上げる努力を若い方々がしています。人材育成こそ明日への投資であり、群馬を魅力ある県にし、勤めたい企業を多くしたいという熱意が伝わってきます。この意気込みを伝える人が現れてほしいと願っています。

また、街並みに於いても、高崎市の計画的な街づくりで新たな街並みが現れ、前橋市でも、多くのイベントを開催し、重要課題である街中の再開発も始まります。

県行政の働きもあり、多くの外国籍の方々が、日本で働くキーステーションとして群馬を選び、日本語を学び、日本で働くようになってきました。外国人との共生の時代です。

巷では、格差社会や少子高齢化など暗いニュースが多いですが、だれもが、享受すべき、喜びの多い、本当の生きがいのある人生が過ごせる社会を創っていかねばならないという大きな課題に直面してきています。

AIの時代にこそ柔軟な頭が要求され、新しい発想が必要です。人が人を評価し序列化する時代や学歴、経歴主義的な発想はほぼ崩壊してきていると考えられます。「何ができるのか」そんなシンプルな評価が重要で、学び続ける姿勢が重要といえるのではないのでしょうか。

幸い、中央中等教育学校だからこそ、歴史観にとらわれない、アクティブラーニングで鍛えられた柔軟な頭で必ずや世に存在価値を示せるものと期待しております。

どんな時代になろうとも、学ぶことを忘れず、真心をもって生活する。幸福になるには「魂を磨き」「人として生きること」に尽きる。

そう過ごしてきて、社会に存在価値を示している卒業生が多く育ってきている。

それが、あなたの中央なのです。誇りを持って決してくじけない人生であってほしいと祈念しております。

*原稿は全て平成30年度中に書かれたものであり、文中の所属・肩書・学年等は平成31年3月現在のものです。

校長あいさつ



SGHから
FEWC(フューク)へ

校長 清水 照久

中央高校の創立から今年で55年、中央中等となつてから15年が経ちます。折に触れて周年史等を読み返し、諸先輩方の母校に対する熱い心に触れ、今後もより一層の努力をしようと気持ちを新たにす今日この頃です。

さて、本校が5年間取り組んできたスーパーグローバルハイスクール(SGH)・文部科学省研究指定事業が3月で終了します。そこで、これまで研究してきた課題探究型の学習やプレゼンテーションに力点を置いた取り組みを今後引き継ぎ、2019年4月から新しい教育プログラム・フューク(Frontier Education for World Citizenship:地球市民を育てるフロンティア教育)をスタートさせていきます。概要を説明します。学年ごとにメインとなるテーマを決め、それに関わる一流の講師を招いて講義をしていただきます。メインテーマは、例えば、地球規模の課題SDGsや模擬国連、グローバル課題やイノベーションなどです。これからの時代は、人工知能の飛躍的な進化による社会の構造的な変化の可能性が指摘されています。そうした事態にも対応していくためのクリエイティブな価値創造をめざしたテーマです。それらについて、グループ学習を取り入れながら、個人研究を進め研究発表会を行い、さらに6年次には英語によるTED型プレゼンを行う予定です。

このフュークは、その教育プログラムの内容が教科書の学習内容とは異なる先見の明のあることから注目されていますが、それだけではなく、活動の財源も、県費だけでなく朋友基金を活用する点も公立高校では珍しい取り組みとして注目されています。

今後とも同窓会の皆様には、朋友基金等を通じてフュークプログラムへご理解と協力を賜りますとともに、母校の発展を暖かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



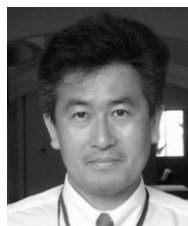
本校が平成26年度より5年間にわたり取り組んできた文部科学省指定のSGH事業は、本年度を持って終了となります。これまでにSGH事業を通して積み上げてきた課題研究の取り組みやグローバルリーダー育成のための様々な行事およびプロジェクトを継続、そしてさらに発展させるため、来年度より新たな教育プログラム「FEWC(フューク)」がスタートします。FEWCプログラムは従来のSGHの取り組みの基礎部分に、イノベーション学習など新たな要素を加えるとともに、ハワイ研修の代わりにジュネーブ国連研修を取り入れるなど、グローバルな社会で活躍できる人材を育てるためのより力強い、開拓的な教育を目指しています。



FEWC SGH指定終了後における、総合的な学習(探究)の時間を中心とした新教育プログラム
Frontier Education for World Citizenship (FEWC) 地球市民を育てるフロンティア教育(フューク)

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
科目	FEWC I	FEWC II	FEWC III	FEWC IV	FEWC V	CS
時数・単位数	総合的な学習の時間(105時間)	総合的な学習の時間(105時間)	総合的な学習の時間(105時間)	総合的な探究の時間(2単位)	総合的な探究の時間(1単位) (関連:情報の科学0.5単位)	Contemporary Studies (外国語科 2単位)
テーマ	身近な地域とSDGs	群馬探究	日本探究と世界学習 (模擬国連)	世界探究	世界へ発信 (イノベーション)	現代探究
探究の重点	【見つける】		【深める】		【発信する】	
内容	ICTを活用して身近な地域とSDGsの関係をテーマに研究を行い、発表・課題研究論文作成を行う	地理統計資料を活用して群馬をテーマに研究を行い、発表・課題研究論文作成を行う	日本及び世界の国々の社会課題をテーマに研究を行い、発表・課題研究論文作成を行う	グローバルな社会課題をテーマに研究を行い、発表・課題研究論文作成を行う	FEWC IVで取り組んだテーマについてイノベーションの観点からさらに深化・発展させ、英語による発表・課題研究論文作成を行う	世界の宗教、国連活動、国際経済、SDGsのテーマから選んで研究を行い、英語によるプレゼンテーション(TED型)を行う
特徴的な学習活動	ICTの活用、身近な地域巡検	地理統計資料の活用、群馬巡検	模擬国連、研究機関訪問	グローバル講義、イノベーション企業訪問	イノベーション学習、海外フィールドワーク	TED型プレゼン

特別寄稿

波風を立てる
同調するな 群を抜け千葉県立千葉工業高校 教諭
22期 櫻井 智明

中央を卒業して32年。当時は理数科を含めて8クラス。在学時はソフト（軟式）テニス部で、校舎は新しくなってもテニスコートは32年前のまま整備をして守ってくれていることを嬉しく思います。

私は中央を卒業してから自活する為、新聞配達をしながら東京電機大学に工学と社会学を学びました。卒業後、千葉の私立高校に20余年勤務しましたが、その学校は通常の運営が出来なくなり、その後公立高校に勤務しています。この世界では、前年を踏襲し現状維持を前提とする世の中に鈍感な人間が多数派です。生活の安定を理由に公務員になった人間は不純です。いつの間にか保守的な人格を形成し現状を維持することを守り革新とは縁の遠いつまらない人間になってしまう。私の私立の経験はきつく辛い思い出とは裏腹に、私に潤いを与えてくれています。空気を読んで不都合に甘んじることなく、貪欲に勝ち取っていくことは楽しい。誰かがやらなければ始まらない。ならその誰かになればいい。波風を立てる、空気を読むな、お前が空気を作ればいい、同調するな、群を抜け。私が中央にいる頃に感銘を受け、そして受け続けている森毅先生の言葉。そしてそれが中央生の生き方ではないだろうか。「フロンティアスピリット」これが中央創立からの精神です。何でもやればいい。誰かがやらなければ始まらない。それなら自分がやればいい。時代が変わっていくのではない。己が時代を変えるのだ。流されるのではなく、自分が流れを作るのだ。同調なんかしていたら全国で優秀賞なんて取れやしない、会長なんて務まらない、ましてや革新なんて。

閉塞感や行き詰まりを感じても、未来を悲観する必要はない。こんな時代と言ったって明日の食べ物を心配し何時も命の危険を警戒するなんていうこともない。どんな風にだって生きていける。私と将来を分けて行くはずだった実弟は事故で死んでしまった。死んでしまったらもう終わり。死んでしまいたいなんて思ったら、その時はFacebookで連絡をください。印度行きの片道飛行機代は私が出します。全く違う人生があるはずです。自由に生きていく方法は100通り以上あると思います。

私はこれからも私の思うように生きていきます。そして千葉から中央生を応援しています。

グローバルに
地域を捉えて株式会社クスリのマルエ
代表取締役社長

30期 江黒 太郎



現在、代表を務めている株式会社クスリのマルエは私の家業です。高校在学時、将来の夢があったわけではありませんが、家族や友人から家業を継ぐものと思われることに居心地の悪さを感じていました。進学に当たってはかなり悩みましたが、自分を必要としてくれる場所こそが一番活躍できる場所だと思い、最終的には家業に入ることが自分のためと考え至りました。将来はアメリカでビジネスを学ぶという強い思いのもと、日本では全く違う分野を勉強しようと考え多摩美術大学で展覧会のプロデュースを学びました。

米国に留学し、ニュージャージーの州立大学で経営学修士課程を修了しましたが、楽しくも苦しい日々の連続でした。同級生は社会人として活躍するビジネスマンばかり。日本で美大を出た私は経済、会計、マーケティングに関する言葉は日本語でも聞いた事はありません。次々出される課題に必死についていきました。大学院に入学して間もなく9.11のテロがありました。当時、私はグラウンドゼロから20km程離れた場所に暮らしていましたが、街にはナショナリズムが溢れ、外国人である私達との間にはセキュリティ強化という名の見えない壁が作られたように感じました。その時、グローバルが物理的なアクセスの問題ではなく心理的なものであると気づかされました。

「グローバル」に活躍するという事は必ずしも海外で仕事することではありません。グローバルを構成するのは「地域」です。クスリのマルエは「地域の人々の健康生活向上に貢献する」ために人々を豊かにする商品と情報、サービスを提供するヘルスケアカンパニーを目指しています。私たちのように生活に深く関わる事業は、地域だからこそ提供できる価値が沢山あります。私自身が新しいことにチャレンジしつつ、地域社会により深く根ざして新しい価値を創造していきたいと思うことこそ、私が中央高校で学んだ「Frontier Spirits」だと信じています。

人間味ある中央生

宮下工業株式会社 専務取締役
33期 宮下 潤

記憶の乏しい幼少期に私は父を亡くし、父が1期生で中央高校に通っていたことから、亡き父の足跡を辿る想いで中央高校へ入学をしました。先輩方には父はこういう男だったよ、という話を伺う機会が度々あり、いつも前向きな気持ちにして下さいました。今ではおかげさまで家業の建設業も継ぐことができ、暖かいお心にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

現在、私は土木・建築を中心に県内のインフラ、一般建築、住宅などの提案や施工を通して、お客様の事業や生活を支える存在を目標に仕事をしております。

様々な事業者様や個人のお客様とお会いする中、県内の各企業・団体の要職に就かれている中央高校の偉大な先輩方がたくさんいらっしゃり、また、とても人間味あるお付き合いを下さり、中央で本当に良かったなと日々感じております。恥ずかしながら社会に出てその様な先輩方が想像以上に数多くいらっしゃることに気づき、中央の大きな強みであると思います。

今、時代はテクノロジーの発達により、生活や仕事の仕方が大きく変わろうとしています。その様な時代だからこそ、人間味ある人と人との繋がりに感謝の気持ちを持つことも大切だと思っております。建設業においても少子高齢化による人手不足や技術継承、業務の効率化、環境負荷低減など、テクノロジーの導入が本格化されています。その様なテクノロジーを導入しつつも、ものづくりの原点である人と人とが顔を合わせ、エネルギーを共有し、手を動かし、手間を掛けた人間味ある仕事をするのも大切だと思っております。そこから創造性や感動が生まれることもあり、お客様や社員が心から喜びを共有する事もあるからです。

時代を切り拓くフロンティアスピリットはもちろんのこと、私は中央から人間味、暖かみある精神も教わり、共に大切にしていきたいと思っております。

メッセージ



未来を創る

東京大学3年 中等8期 石曾根 拓実

僕は現在、東京大学でシステム設計を学ぶ一方で、株式会社hokan（以下、hokan）でマネージャーを務めております。この場では僕のユニークなお話ができればと思い、後者について取り上げます。

hokanは、創業1年少々の若い企業で、保険商品の販売員（以下、募集人）向けの顧客管理サービスをクラウド上で提供することを通じて、顧客を大切に思う募集人の保全業務を支援し、ひいては保険業界の社会的な価値の向上に努めております。

僕のhokanでの経験は、自分には何もわからないことを素直に認めることから始まり、社長の厳しい指導に食らいつき、今ではユーザーヒアリング・システム要件定義・インターフェースのデザイン・開発の進捗マネジメントと、多くの業務を担当しています。今後も、自分の実績の全てを次なる機会に投資する気概で成長していきます。

将来の目標は、人類の未来の発展を明確に思い描き、いつか来るであろうその未来を手繰り寄せる活動をすることです。そのためには自ら事業を興して財を成し、未来を創る若者に投資する必要があると考え、創業期に社長の直下で働けるhokanで精進していく所存です。

人との出会い

富山大学3年 中等8期 増川 夕真

私は富山大学で建築を専攻しています。

大学生になると他人からものを与えられることは少ないです。今の自分に何が必要か、何をすべきか考え行動するため悩みも多いですが、非常に面白く充実した時間でもあります。

私は2年の夏期休暇に3年生以上が募集対象の設計事務所のオープンデスクに無理を言って行かせていただきました。16日間、毎日11時間、打ち合わせ用の模型製作、リノベーションのための測量、お施主さんとの打ち合わせと、大学ではできない体験をさせていただきました。日々、現場の仕事の厳しさを感じることがありましたが、それ以上に建築家とお施主さん方とで作り上げたものが、人々を幸せにできることの素晴らしさを身を持って感じました。“人との出会いが人生を変える”と言いますが、私にとってまさにその言葉通りの16日間でした。

今の自分の目標は、子どもや学生に“社会人は楽しそう、早く社会人になりたい。”と思ってもらえるような大人になることです。「生き生きと自身の人生や仕事、周りの人々に向き合う人間になる。」この目標の実現のためこれからも精進していきます。

生徒会長あいさつ



大きな背中

平成30年度生徒会長

5年 鈴木 亜優

6度目、中央中等生として最後の春を迎えました。見慣れた通学路は目まぐるしく変化し、時の流れの速さを感じています。

まだ本校に入学して幾月を経っていない頃は、先輩方の背中がとても大きく、これから始まる“6年”が無限に続いているように感じられたものです。

さて、私が本校の“生徒会長”という大変責任ある立場に就任させていただいてから半年が経ちました。就任以降ひしひしと感じるのは、かの先輩方の偉大さでしょうか。

私は2年生のころから生徒会本部役員として活動してきましたが、どの年も私がやりたいことを提案すると、先輩方は親身になって応じてくれました。様々な仕事がある中で、当たり前のように年間のスケジュールを終えることができていました。いつも頼もしく、後輩には自身の大変さを微塵も見せなかった先輩方に、私はいったいどれほど支えられていたのでしょうか。考えると頭が上がりません。

そんな当時の先輩方と同じ年となった今の私は、思い通りにいかないことばかりで、「もっと先輩みたいにうまくやれると思ってたのに！」と、未熟な自分に腹が立つこともしばしば。憧れていた背中にはまだまだ追いつけそうもなく、悪戦苦闘する毎日です。しかし、それと同時にこの学校を自分たちの手で新たに築いていくことの楽しさを感じています。

創立16年目を迎える本校。ほんの16年。されど16年。積み重ねられた毎日の、些細な出来事に笑って、泣いて、生まれる1人1人が作り出してきた空気が、今の本校を動かしているのでしょう。

そんな歴代の先輩方が築いてくれた暖かい学校を、より多くの人に大切に思ってもらえるような場所にするため、大きな背中を追いかけ、日々邁進していきたいと思います。

開校記念講演会より



平成30年9月28日(金)に、開校記念講演会を開催しました。今年度の講演会は、在校生のプレゼンテーションから始まり、講師の記念講演そしてトークセッションの3部構成でした。プレゼンテーションでは、3年生志賀大哲君、4年生吉沢一貴君、5年生小林孝徳君と6年生奥谷哲郎君の4名が、総合学習でそれぞれ探究してきた内容を発表しました。

次の記念講演では、元エバーノートジャパン会長の外村仁氏から「来たるべきAIの時代を生き抜くためにだいじなこと」という演題で講演をいただきました。最後に、株式会社ジズCEOの田中仁氏と外村仁氏が、「自分自身の人生を生きるためにどうあるべきか」というテーマでトークセッションを行いました。

今世界で活躍している人たちの講演やトークセッションは、生徒に大きな刺激を与え、アクションを起こすよう背中を強く押してくれました。



記念講演会に参加して

お二人は、自分がやりたいこと、挑戦してみたいことに素直に取り組み、それを仕事として成立させている。自分が本当に熱中できる何かに出会えたからこそ会社を興せる。そういう魅力的な人になることが私の目標です。(5年生)

朋友祭実行委員長あいさつ



2018,6/8,9

平成30年度朋友祭実行委員長

6年 村上 蓮

朋友祭が終わってもうしばらくになった。だいぶ前のことなのだが、鮮明な記憶としてまだ残っているというのは、それだけ強烈な日々だったことの裏付けだろう。普通に生きては二度はない経験をこの時にできたということ、を、喜ばしく思う。

実行委員の希望者の招集から当日までは半年弱しかなかっただろう。テーマ・諸デザイン・イベントの数々。次々と決めねばならない問題の山積に、初めて実行委員側に携わった私のようなものは振り回され気味だった。先生、皆の仕事に感謝である。何ができて何ができなかったのか。思い返しても不明瞭でわからないところが多い。それで事後にアンケートまで取って反省の継承をしていくのだから、だいぶ立派に組織であると思う。次回にも期待したい自分がある。

校内公開日を迎えてもまだ手の行き届いていない箇所はあちこち。暦の都合で準備期間の絶対量が少

なかったらしいが、嘆くばかりでもいられなかった。旗印になった今回のテーマ「Novigo!」の“革新”の意味の如く、初の試みたちを初的手段・方法で仕上げていき、一般公開の時にはきれいな状態にできた(強風による風船の被害はあったが)。大変ではあった。だが何もかもが自分の経験した過去二回と違う見え方をし、すべてが面白かった。当日も、楽しむお客として過ごすか、接客するスタッフとして過ごすか、全体を見る実行委員として過ごすか、このそれぞれで見え方が違う。6年過ごしたことでそのどれをも感じることができ、どのかたちでも楽しめた。これは贅沢な限りである。

全生徒の頑張りのおかげであり、先生方のおかげであり、実行委員のおかげで成功とできた今回の朋友祭。実行委員のみんなとこのように仕事できたこと、本当によかったと感じる。今回起こした“Novigo!”のような過去を受け継ぎかつ新しいものを生み出していくことを、また次へ次へと継承していくことを願うばかりだ。個人的には、もう一度テーマソングができるようなことがあるならば、楽しみではある。



部活動報告

部活動報告

管弦楽部

私たち管弦楽部は、前期生と後期生合わせて84名で活動しています。年に2度の定期演奏会を基軸に、様々な場面で活躍の機会をいただいています。昨年の夏に行われたTBS子ども音楽コンクールでは、前期生が優秀賞を獲得しました。その他にも朋友祭、群馬県高等学校総合文化祭、そして全国高等学校選抜オーケストラフェスタなどを通して、部員それぞれが目標を持ち、日々技術を磨いています。管弦楽部を支えてくださるたくさんの方々への感謝を込めて、私たちは全力で演奏します。

5年 中嶋 梨乃



後期女子バレーボール部

「いくぞ!」「よし!」「ランニング!」「よし!」午後4時半、今日も私たち後期バレー部の練習が始まる。私たちの目標は大会で1日目を突破し、2日目に進出すること。そのためにサウナのような暑い夏でも、冷蔵庫の中のような寒い冬でも、顧問の新井先生、副顧問の館石先生、内田先生、そして13人の部員と共に練習を重ねてきた。味方のボールをつないで、相手を攻撃する。単純のようで、難しいこのスポーツに私たちは青春を注いできた。1試合でも1セットでも多く勝つために…。これからも応援よろしくお願いします。 5年 城田 葵生



前期サッカー部

僕たち前期サッカー部は2年生7人、1年生8人の計15人で活動をしています。11人でプレーするサッカーのチームとしてはとても多いとは言えません。さらに僕たちの練習時間は他の中学校よりもとても少ないです。よって意味のある練習をしなければなりません。そのことを部員一人ひとりが意識をしてこれからも練習を積んでいきます。そしてまずは春体に向けてそして集大成である夏の大会でよいパフォーマンスを発揮し納得の結果を得られるように頑張ります。

2年 梅山 翔



前期男子バスケットボール部

私達前期バスケットボール部は2年生6人、1年生7人の計13人で活動しています。私たちのチームの目標は「県大会出場」です。そのために、チーム全員で団結し、練習に励んでいます。これまでに新人戦と佐藤杯の2つの大会がありました。しかし、どちらの大会も負けてしまい県大会へ進むことはできませんでした。ですが、この負けからいろいろな課題を見つけることができました。そして、今は2月にある冬季大会に向けて練習をしています。これからも一生懸命頑張りたいです。

2年 金本 琉希



後期女子バスケットボール部

現在私たちは計12人で活動しており、「ベスト8」という目標に向かって、顧問の先生方の厳しくも温かいご指導の下日々練習に取り組んでいます。

私たちはこの目標を立てるとき、先生に言われました。「覚悟はあるか」と。決して簡単な目標ではなく、達成するには相当な努力が要されます。それでも私たちは「ベスト8」を選びました。全員で勝利のために戦い、必ず達成します。一日一日の練習を大切に、また、感謝の気持ちを忘れず目標に向けて頑張ります。

5年 廣嶋 さくら



後期男子バドミントン部

後期男子バドミントン部は現在16人で活動しています。生徒主体となって活動しているため、結束力が強く、仲の良い部活です。Gリーグでは中央中等が1位を3年連続獲得することができました。また県新人戦では団体戦3位、シングル3位、ダブルス3位と県トップクラスのチームとなれました。平日の練習時間は2時間、休日は3時間と短い時間ですが、その分内容の濃い練習にできるよう意識を高く持って取り組んでいます。より高いタイトルを目指して日々精進していきたくと思います。

5年 矢畑 加月



前期女子テニス部

私たち前期女子テニス部は、2年生10人、1年生6人の計16人で楽しく活動をしています。テニスは外部活ということで、天候などに練習を左右されてしまいますが、どんな時でも、どのように練習したらよいかを部員全員で相談して、短い時間や室内でも効率よくできる練習を目指しています。私たちの目標は関東大会に出場することです。そのために私たちは技術面だけでなくたくさんの人から応援してもらえるような、元気な挨拶のできる部活になるように、一生懸命活動していきたいと思っています。

2年 宮澤 有紗



前期陸上部

私たち、前期陸上部は男子14人、女子7人の計21人で活動しています。

今年度は、チームが良い雰囲気活動することができ、その結果女子のリレーチームや長距離で関東大会、全国大会への出場者を出すことができました。

その、先輩たちが作り上げてきてくださった良い雰囲気、伝統を引き継ぎ、より良いチームへと変えていきたいです。来年度は、全国大会を目指す男子リレーチームをはじめ、全員が自身の目標に向かって突き進んでいきます。応援よろしくお願いします。

2年 芹澤 陸斗



活躍している後輩達

「少年少女国連大使」に参加

日本青年会議所が海外へ小中高校生を派遣する「少年少女国連大使」に、本校3年の三輪明日香さんが選ばれ、スイスの国連機関やフィリピンの貧困地区を昨年夏に訪問し、世界の課題と向き合いました。大使は全国の小学5年生～高校3年生が対象で、今回が8度目の派遣で、30名が選ばれました。本県からは三輪さんが唯一の参加となりました。

三輪さんは2014年にノーベル平和賞を受賞した女性教育活動家、マララ・ユスフザイさんの国連本部でのスピーチを聴き、国際問題に関心を持つようになりました。国連職員になるのが夢といい、現場を知ろうと「少年少女国連大使」に申し込みました。

スイス・ジュネーブとフィリピン・マニラに計10日間滞在しました。ジュネーブでは国際労働機関(ILO)や世界保健機関(WHO)を見学。国連欧州本部で17項目の「持続可能な開発目標(SDGs)」のうちから一つを選び、実現に向けた策を探るワークショップに臨みました。

マニラではリゾート地とスラム街の両方を行き来し、格差の実情を垣間見ました。

参加後、「これまでは知識だけで知ったつもりになっていた。今回の活動で得たものを多くの人に伝えていきたい」と意欲的に話していました。



以下に本人のコメントを掲載します。

少年少女国連大使の経験を通して



3年 三輪 明日香

私は、昨夏に少年少女国連大使に選抜され、ジュネーブとマニラを訪問しました。海外研修では、国連機関で世界の課題を学び、現地の同世代の大使と協力して、毎日夜遅くまでプレゼンの構築に励みました。結果として、最終日に国連欧州本部で行ったプレゼン発表では最優秀賞を受賞し、大変貴重な経験となりました。スイスからの帰国後すぐに訪れたフィリピンでは、バセコ地区という超貧困層の人々が暮らすスラム街を回りました。実際の彼らの厳しい生活を知る



と同時に、浜辺だけでなく海までを埋め尽くすごみの山を目の当たりにし、私たち自身の責任の重さを感じました。また、研修を通して世界の人々と関わりあう中で、互いの良さを尊重し合うことはもちろん、自分の長所を自らしっかりと理解し、その力を最大限に生かし、自分だからこそできる仕事を担うことの必要性を感じさせられました。実際にスイスでのプレゼン構築の際には、自分が得意とするジェンダーの分野をテーマにすることを提案し、話し合いをリードする立場についたことで、メンバーの長所を理解したうえで適材適所の役割分担を行うことができました。それらが功を奏して、本番では満足いく結果を残せたのだと思います。この経験で得たことを忘れることなく、今後のさらなる学びにつなげていきたいと思っています。

最後に、私は、国連職員という夢のために、これまで両親をはじめ多くの方々を支えていただきました。その全ての方々への感謝を忘れることなく、今後も努力してまいります。ありがとうございました。



「大使」になって課題解決



実在する国の大使になりきって国際問題の解決を目指す模擬国連会議が2月7日及び13日に中央中等教育学校で開かれた。3年生が『～2050年の世界をどう養うか～』をテーマに発表・議論した。3年生はGSIの授業で、「世界中の様々な食糧問題を解決

し、将来にわたってどのように食料を確保し、世界の人々を養っていくのかという方針を立てることを目標に1年間準備してきた。

初日は、4人一組で1カ国を担当し、32カ国の大使に扮した生徒が英語で政策を発表した。

米国チームは「途上国に技術と資金を提供する代わりに、農作物を買ってもらおう。フードロスを減らす」、ロシアチームは「寒冷地でも栽培可能な農作物の開発をする」など、それぞれの国が抱える問題を反映しながら意見を述べた。



発表後は、似た意見などを持つ国と交渉して意見を精査し、協力し合いながら4つのグループがそれぞれ3～5の行動計画案を提出した。

二日目は、初日に提出した行動計画について日本語で説明を行い、より多くの国の賛同を得られるよう求めた。その後、再び、似た意見などを持つ国と協力して計画案の文言を考え、相容れない場合は、妥協点を見つけようと交渉を重ね、さらに議場全体で意見を整理して、より多くの賛同国を集めた。今回は10か国以上の賛同が得られれば、議場に行動計画案を提出できるというルールであり、制限時間いっぱいまで粘り強い交渉が続いていた。最終的には7つの行動計画案(Action Plan)としてまとめられたものを決議案として提出した。



最後に、議場でロールコール投票(すべての国がYESかNOかの意思表示をする投票)によって今会議の決議として採択した。参加国の3分の2以上の賛成が得られたのは、アラブ首長国連邦を中心とするグループによる持続可能な農業生産技術に重点を置いた計画案と、イスラエルを中心とするグループによる水資源の有効な活用と技術提供を求めた計画案の2つであった。合意形成の難しさを改めて認識した会議となった。

模擬国連会議後の振り返りの中で、生徒から「他国と協調していくことは難しいけれど、交渉を重ねることは楽しかった」「他国に流されずに、常に自国の立場を守るために、しっかりと準備が必要だった。」「自国だけでなく、他国の立場を理解しておくことが交渉の際に大切だった」という声が出てきた。自分の立場を守りながら相手とよりよい解決策を考えることに大きな意義を感じていたようだった。

平成31年4月1日付 学校教職員人事異動(敬称略)

離任者				
職名【教科】	氏名	転出先		
教諭【化学】	飯島 邦彦	藤岡工業高校		
教諭【物理】	萩原 真樹	前橋西高校		
教諭【家庭】	原沢 智子	高崎女子高校		
教諭【数学】	東條 聡	高崎市立長野郷中学校		
教諭【数学】	新井 裕之	事務局		
教諭【英語】	箕輪 直道	四ツ葉中等教育学校		
教諭【数学】	近藤 浩貴	四ツ葉中等教育学校		
教諭【美術】	金井 咲子	群馬大学教育学部附属小学校		
教諭(体育補)【英語】	女屋 美咲	松井田高校		
教諭(体育補)【生物】	山田 啓介	高崎北高校		
実習教諭	高橋 哲史	桐生工業高校		
主幹	片岡 忍	前橋女子高校		
非常勤【社会】	並木 敏幸	退職		
非常勤【社会】	佐俣 早咲	新採用		
SGH事務補助員	黒澤のぞみ	市職員新採用		

新任者			
職名【教科】	氏名	前任教等	
教諭【物理】	佐藤 智久	前橋高校	
教諭【家庭】	星野 康弘	桐生西高校	
教諭【化学】	善養寺 真弓	前橋女子高校	
教諭【英語】	清水 可奈子	太田東高校	
教諭【数学】	金井 倫正	群馬南中学校	
教諭【美術】	新井 朋恵	榛東中学校	
教諭【数学】	山浦 敦史	前橋女子高校	
教諭【数学】	蜂須賀 将太	上野小学校	
教諭(体育補)【英語】	落合 さつき	高崎東高校	
教諭(体育補)【生物】	遠藤 良太	大間々高校	
実習助手【実習教諭】	廣瀬 智成	吉井高校	
事務	坂口 泰之	前橋商業高校	
非常勤【社会】	田村 浩一		
非常勤【社会】	松下 晋		
非常勤【英語】	原田 陽子		

平成30年度卒業生進路概況

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

1 概況

平成31年3月に卒業した10期生122名は、文部科学省からSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）に指定された本校において一人ひとりが自分の夢や希望を実現すべく「第1志望校、現役合格」をめざして前進し、それぞれの進路先に進みました。現役進学率95.1%は、本校史上最高の結果です。

本校の進路指導は、生徒が6年間をかけて自ら取り組みべき社会的な課題を発見し、その研究に取り組むステージを第1志望校として設定するよう、生徒一人ひとりに寄り添い、きめ細かく対応しています。「自らの努力で進路をつかみとる力」や「自己有用感」を身につけた10期生は、近未来の社会において本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

2 最難関大、医学部医学科

現役生は東京大に1名（理I）のほか、京都大に1名（法）、一橋大に2名、東京工業大に1名が進学します。医学部医学科については、群馬大に3名のほか旭川医科大・東北大・山形大・自治医科大にそれぞれ1名が進学します。

3 国公立大

国公立大にはのべ62名が合格し、そのうちの57名が進学します。世界水準の研究力を持ち、平成29年に東大・京大とともに指定国立大学法人となった東北大には、本校から受験した10名全員が合格し進学します。

4 私立大

私立大進学者59名のうち、指定校推薦による進学者は2名（早稲田大法・基幹理工）でした。入学定員管理の厳格化等によって首都圏有名私立大入試が難化するなかで、本校の早稲田大現役合格者数はこれまでの最多となりました。

5 過年度卒業生（浪人生）

昨年度は紙一重で涙をのんだ卒業生の進学先としては、東京大2名（文Ⅲ、理I）、京都大（法）、東京医科大（医-医）等があげられます。

6 展望

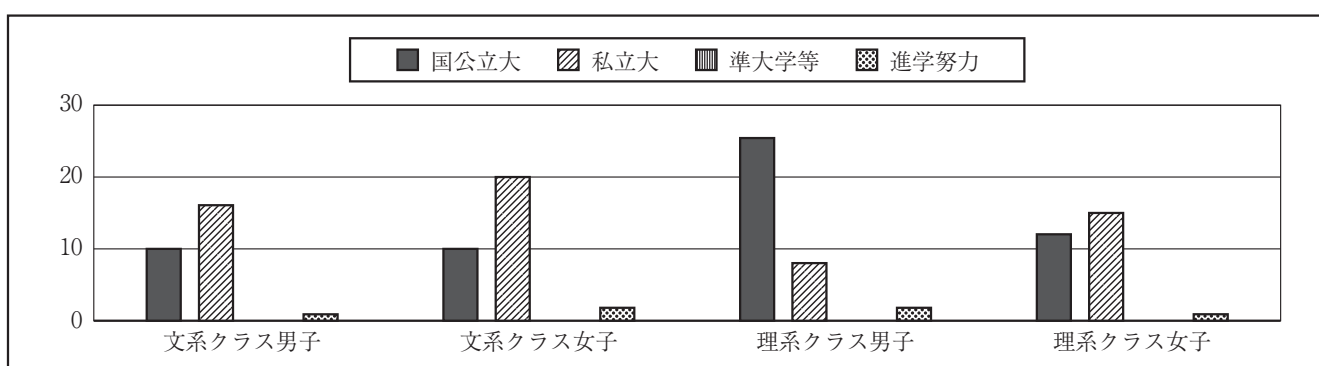
昨今の社会変化に伴う教育改革が進行し、本校11期生が大学進学に際してセンター試験を受験する最終学年となり、12期生以降は「共通テスト」を受験することになります。生徒全員が「第1志望校、現役合格」を実現するために、本校は授業改善に努め、進路指導をいっそう充実させ、万全の体制を整えたいと考えています。今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数（現役生のみ）

卒業期	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力	現役進学率(%)
		国立	私立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1

- ・準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修各種学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100

【表2】10期生の文理別、男女別の進路先（実人数）



大学等合格者数（最近の3年間）

国立大学

大学名	H29	H30	H31
旭川医科			1
小樽商科		1	
帯広畜産	1		
岩手			1
東北	5	6 (1)	10
秋田	1		
山形	2	2 (1)	2
茨城	1	1	1
筑波	3 (1)	2	2
宇都宮		1	
群馬(社会情報)		1	1
群馬(教育)		4	3
群馬(理工)	2	4	5
群馬(医-医)	1 (1)	4	3
群馬(医-保健)	3	1	2
埼玉	3	1	
千葉	1	5 (1)	1 (1)
お茶の水女子	2	2	1 (1)
電気通信		1	
東京	1	2	3 (2)
東京外国語	1	1	1
東京学芸		3	1
東京藝術	1		2 (1)
東京工業		1	1
東京農工			2
一橋	2	2	2
横浜国立	1		1
上越教育	2		
新潟	4	4 (1)	1 (1)
富山	1	1	1
金沢	3	1	2
山梨		1 (1)	
信州		2 (2)	
名古屋			1
京都	2	3	2 (1)
大阪		2	1
大阪教育			1
神戸		1	
広島		1	1
合計	43 (2)	61 (7)	56 (7)

私立大学(抜粋)

大学名	H29	H30	H31
岩手医科			1 (1)
東北医科薬科		3 (2)	
国際医療福祉	3	3	3
自治医科	1		2
獨協医科		1	1
白鷺	2	3	2
共愛学園前橋国際	2	7	5
桐生		1	
群馬医療福祉	1	1	
群馬パース			5
高崎健康福祉	8	9	10
埼玉医科		1	
獨協	10	1	1
文教	3	13	4
神田外語		1	4 (2)
城西国際		1	3
千葉工業			3
帝京平成		4	
青山学院	6 (1)	14	9 (2)
亜細亜	1		2
桜美林	1		1
大妻女子		2	3
学習院		2	1
学習院女子	1		2
北里	6	4 (1)	3
国立音楽			1
慶應義塾	5	12 (2)	14 (2)
恵泉女学園			1
工学院	2	2 (2)	
國學院	2		2
国際基督教	1	2	1
駒澤	8	3	7 (2)
実践女子		3	1
芝浦工業	11	16 (3)	8 (1)
順天堂		1	4
上智	3	7	6
昭和	3	4	
昭和女子		4	2
昭和薬科		1	
女子栄養		1	1
白百合女子	2	1	1
成蹊	2	8 (1)	2
成城	4	4 (1)	3
聖心女子	1		
専修	5	12	11
創価	2		
大正			2
大東文化	3	1	2
玉川	2 (1)	2	2
多摩美術	1		1 (1)
中央	19 (1)	14	22
津田塾	5	8	5
帝京	3	1	3
東海	6	11	5
東京医科		1	1 (1)
東京家政		2	3
東京家政学院		2	
東京経済			1
東京工芸			1

公立大学

大学名	H29	H30	H31
岩手県立		1	
国際教養		2	
群馬県立県民健康科学	1	1	1
群馬県立女子	5		3
高崎経済	3 (1)	3	7
前橋工科	1		1 (1)
千葉県立保健医療	1		
首都大学東京	1	1	
横浜市立	1	2	
都留文科	1		
公立諏訪東京理科			1
岐阜薬科			1
静岡県立	1		
京都市立芸術	1 (1)		
合計	16 (2)	10	14 (1)

大学名	H29	H30	H31
東京女子	4	6	2
東京女子医科	1		
東京電機	2	4	4
東京都市	1 (1)	1	
東京農業	7	3	4
東京福祉	5	11	
東京薬科	1	2	1
東京理科	4 (1)	18 (1)	23 (5)
東邦		1	
東洋	18	17 (2)	18
日本	18	9	7
日本女子	3	3	7
日本体育		2	
法政	18	17	22 (2)
星薬科	1 (1)	2	4
武蔵	2 (1)		2
武蔵野	4	2	1
武蔵野美術	5		2
明治	11	20	27 (5)
明治学院	6	6	4
明星		2	
目白	2		2
立教	11	6	26 (1)
立正	2	2	3
早稲田	12	17 (2)	28 (6)
麻布	1	2	1
神奈川	2	5	5
東洋英和女学院	4	1	
フェリス女学院	2	1	
新潟医療福祉		2	
金沢工業	1	1	
中京			1
日本福祉		3	
名城		2 (2)	
京都産業	2 (2)		
同志社	1	1	2
立命館	4	6 (1)	6
龍谷	1 (1)		
関西	1 (1)	1	1
近畿			2
立命館アジア太平洋	1		
合計	319 (9)	383 (20)	393 (41)

準大学、短大、専修・各種学校、海外の大学等(抜粋)

学校名	H29	H30	H31
防衛大学校		1	
海上自衛隊航空学生	1		
航空自衛隊航空学生	1	1	
海上保安学校	1		
東京メディカル・スポーツ専門	1		
海外の大学	1		
合計	5	2	0

- ・年度は入試年度
- ・数字はのべ人数
- ・()内は過年度卒業生の内数
- ・平成31年3月末日までの判明分

収支報告

平成29年度
群馬中央同窓会決算

■ 一般会計

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
前年度繰越金	212,168	212,168	0	
運営費計	3,414,000	3,330,000	△84,000	
入会金	1,230,000	1,230,000	0	10,000円×123名
特別会費	984,000	984,000	0	8,000円×123名
年会費	1,200,000	1,116,000	△84,000	2,000円×555人、3,000円×2人
総会会費	220,000	136,000	△84,000	
特別積立会計より	1,000,000	1,000,000	0	預金利息
その他収入	832	4	△828	
合計	4,847,000	4,678,172	△168,828	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
会議費計	600,000	421,523	178,477	
総会	500,000	314,699	185,301	通常総会
会議費	100,000	106,824	△6,824	役員会
事業費計	3,635,000	3,707,277	△72,277	
会員親睦費	100,000	100,000	0	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報制作・発送費	2,300,000	2,217,249	82,751	
行事費	200,000	351,904	△151,904	開校記念式典ほか
Webページ設置管理料	35,000	38,124	△3,124	Webページ管理料
役員費計	85,000	58,320	26,680	
通信費	15,000	0	15,000	
払込手数料	70,000	58,320	11,680	年会費払込料加入者負担額
渉外費	100,000	53,440	46,560	交際費(職員歓迎会参加費ほか)
広告費	50,000	42,120	7,880	高校野球ガイド広告掲載料ほか
慶弔費	150,000	59,874	90,126	弔慰(香典、供花ほか)
卒業記念品費	85,000	77,797	7,203	卒業証書ホルダー
転退職員饗別	45,000	45,000	0	転退職員饗別金
積立金	0	0	0	
予備費	97,000	0	97,000	
合計	4,847,000	4,465,351	381,649	

収入総額4,678,172円 - 支出総額4,465,351円 = 212,821円 (30年度へ繰り越し)

■ 特別積立会計

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	36,888,016	36,888,016	0	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	984	291	△693	
合計	36,889,000	36,888,307	△693	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,000,000	0	
周年事業	0	0	0	
その他支出(次年度繰越金)	35,889,000	0	35,889,000	
合計	36,889,000	1,000,000	35,889,000	

収入総額36,888,307円 - 支出総額1,000,000円 = 35,888,307円 (30年度へ繰り越し)

監査の結果、相違ないことを証明する。
平成30年3月31日 会計監査 工藤 雅史 生沼 英治

平成30年度
群馬中央同窓会予算

■ 一般会計

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
前年度繰越金	212,821	212,168	653	
運営費計	3,414,000	3,414,000	0	
入会金	1,230,000	1,230,000	0	10,000円×123名
特別会費	984,000	984,000	0	8,000円×123名
年会費	1,200,000	1,200,000	0	2,000円×600人
総会会費	200,000	220,000	△20,000	
特別積立会計より	1,350,000	1,000,000	350,000	
その他収入	179	832	△653	
合計	5,177,000	4,847,000	330,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
会議費計	520,000	600,000	△80,000	
総会	400,000	500,000	△100,000	通常総会
会議費	120,000	100,000	20,000	役員会
事業費計	4,089,000	3,635,000	454,000	
会員親睦費	100,000	100,000	0	活動費補助
母校寄与事業	1,350,000	1,000,000	350,000	カフェテリア修繕、図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報制作・発送費	2,300,000	2,300,000	0	
行事費	300,000	200,000	100,000	開校記念式典補助ほか
Webページ設置管理料	39,000	35,000	4,000	群馬中央同窓会ホームページ管理料
役員費計	85,000	85,000	0	
通信費	15,000	15,000	0	郵便料、メール便
払込手数料	70,000	70,000	0	年会費払込料加入者負担額
渉外費	100,000	100,000	0	交際費
広告費	50,000	50,000	0	高校野球ガイド広告掲載料ほか
慶弔費	120,000	150,000	△30,000	慶弔
卒業記念品費	85,000	85,000	0	卒業証書ホルダー
転退職員饗別	70,000	45,000	25,000	転退職員饗別金
積立金	0	0	0	特別会計積立金
予備費	58,000	97,000	△39,000	
合計	5,177,000	4,847,000	330,000	

■ 特別積立会計

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	35,888,307	36,888,016	△999,709	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	693	984	△291	
合計	35,889,000	36,889,000	△1,000,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,350,000	1,000,000	350,000	
周年事業	0	0	0	
その他支出(次年度繰越金)	34,539,000	35,889,000	△1,350,000	
合計	35,889,000	36,889,000	△1,000,000	

期別同窓会

8期同窓会



平成30年11月3日に8期同窓会(第5回)を開催しました。

私達中央高校8期生は卒業後46年目の年を迎え、各自新たな歩みを進めている旧友との楽しい再会が出来ました。2020年のオリンピックの開催を控え、日本のメダルを増やすべく同窓会を開催いたしました。趣味のこと、健康の秘訣等、旧友と再会を喜び合い、懐かしい一時を語り、お互い楽しみました。今回は恩師に案内せず、「群青の秋」と声高らかに「居酒屋」で、和気あいあいと。

新元号で第6回を開催したいと思います。
8期代表幹事 福田 幸正

22期同窓会



中央高校を卒業してから32年の時を超え、満を持して第1回同期会を開催しました。11月10日(土)、高崎駅東口のイタリアン「アルコバレーノ」にて19時より開宴。8クラスで全356名卒業の学年で、恩師佐藤健一先生・高橋正四郎先生・松本稔先生をお迎えし、全63名出席の同期会となりました。中央でのかけがえのない経験とフロンティアスピリットを胸に、社会の中核を担う人間になりました。人生の半

世紀を経て50歳となった今、あの頃にタイムスリップしお互いの健康と健闘を讃えあいました。素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。

幹事：青木秀夫・清水一郎・根岸卓也・大藤里美・石田佐奈江・吉田直美・天田祐子・湯浅里美(同期会の連絡はLineグループを利用しています。未加入の同期は友人を通じて登録して下さい。)
22期代表幹事 櫻井 智明

その他活動報告

首都圏支部懇談会開催



平成30年11月18日に首都圏支部懇談会を港区新橋にある中国料理新橋亭において開催しました。大島同窓会長、後藤支部長あいさつのもと懇親に移り、出席者の近況報告や昔の懐かしい思い出話などで大盛況でした。今回は手法を変えて、学校の先生方をお呼びする予定ですので皆様ご出席してください。

尚、詳細についてはホームページをご覧ください。ビンゴゲーム等も予定しています。
首都圏支部長 後藤 隆次郎(9期)

朋友会ゴルフコンペ



コンペは年2回、4月29日と11月3日に開催予定です。皆様ご参加ください。
連絡先：佐藤 義久(11期)
携帯：090-3539-5745
E-mail：secfield@olive.ocn.ne.jp

平成30年度 通常総会・懇親会開催

平成30年6月16日(土)にエテルナ高崎に於いて、中央中等の清水校長を始め、先生方を来賓に迎え、総会及び懇親会が開催されました。

今回は役員改選もなく、平成29年度の事業報告、収支決算報告等が報告され、30年度の計画・予算等の提案においても承認されました。

参加人数は急には増えませんが、新しく参加の会員や毎年参加してくれる中等の卒業生もでてきております。今年も6月22日(土)に例年と同じエテルナ高崎で開催されますので、ぜひお誘いあわせの上参加してください。

また、参加して下さる旧在籍職員の方もお招きしたいと考えておりますので、在籍された先生方と交流のある方はぜひお誘いくださいまして、場が盛り上がりますようご協力ください。



平成30年度 同窓会組織役員

■ 会長	川島 陽一 (14)
大島 聡 (9)	砂長 聡 (14)
■ 副会長	関口 朋克 (20)
佐藤 義久 (11)	中台 啓一 (24)
時澤 秀明 (13)	渡邊 辰吾 (30)
■ 書記	■ 幹事
福田 幸正 (8)	高橋 政臣 (33)
鈴木 正治 (8)	■ 首都圏支部長
■ 会計	後藤隆次郎 (9)
小和瀬一幸 (14)	■ 首都圏支部役員
■ 会計監査	上原 裕一 (9)
工藤 雅史 (12)	■ 顧問
生沼 英治 (17)	塚越 陽平 (1)
■ 理事	塚越三三男 (2)
千木良芳明 (3)	市川 光則 (6)
藤川 清幸 (11)	

※()数字は中央高校卒業期数

事業報告

平成30年度 群馬中央同窓会事業報告

- 4月9日(月) 群馬県立中央中等教育学校第15回入学式
- 4月20日(金) 群馬県立中央中等教育学校学校主催歓送迎会参加
- 4月27日(金) 同窓会報発行
- 4月29日(日) 第73回朋友会ゴルフコンペ
- 5月18日(金) 第1回役員会(総会準備について他)
- 6月1日(金) 群馬県立中央中等教育学校教職員との懇親会
- 6月16日(土) 通常総会・懇親会(エテルナ高崎)
- 7月23日(月) 第2回役員会(総会の反省・開校記念式典について他)
- 9月28日(金) 中央中等開校15周年記念・中央高校創立55周年記念式典
- 10月18日(木) 同窓会編集委員会
- 11月3日(土) 第74回朋友会ゴルフコンペ
- 2月12日(火) 同窓会報編集委員会
- 2月15日(金) 第3回役員会(新年度の事業運営・会報・総会について他)
- 2月28日(木) 群馬県立中央中等教育学校第10期卒業生同窓会入会式(記念品を贈呈)
- 3月1日(金) 群馬県立中央中等教育学校第10回卒業式

年会費振込についてのお願い

会費は同窓会の運営のほか、母校の教育支援等の発展のためにも使われています。主旨をご理解いただき、年会費2,000円を納入頂けますようお願いいたします。お手数ですが、同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込みください。

- 年会費振込口座 ゆうちょ銀行 00570-4-49058
口座名 群馬中央同窓会
- ATMによる振込も可能ですのでご利用ください。
(ただし、手数料がかかります)
- 群馬銀行 本店営業部 普通預金 2445643
口座名 群馬中央同窓会 会長 大島 聡
- 東和銀行 新前橋支店 普通預金 0372142
口座名 群馬中央同窓会 会長 大島 聡

編集 会報26号発行の運びとなりました。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。
後記 さて、今回数年ぶりに表紙に校舎の空撮写真を使用しました。学校周辺は昔の面影を残しつつも、随分と発展している様子がうかがえます。県内トップ校の仲間入りをしたわれらが母校も、今後ますます発展していくことを祈念します。我々卒業生も微力ながら協力いたします。